

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：岩手県ダンススポーツ連盟]

[記載日：2022年6月26日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	非該当
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 岩手県のダンススポーツを統括する団体として公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（JDSF）に加盟し、同連盟の規約等に基づいた活動を行っているとともに、岩手県ダンススポーツ連盟規約を制定・遵守している。	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 競技会・研修会等の開催に当たっては、当該施設の使用に関する規則を遵守するとともに、特に昨今のコロナ禍においては、安全管理にも配慮しながら運営に当たっている。	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 2022～2023年度役員として理事16名、監事2名を選任している。 なお、理事16名のうち5名（31%）が女性、1名（6%）が外部理事である。	A

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) JDSF の加盟団体として、JDSF の中長期計画に準じて組織運営等を行っている。 https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/M-L-TermPlanAndInterimReport.pdf	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) JDSF が毎年実施している全国代表者会議において、加盟団体に求められるガバナンス体制に関する講演会を開催しているので、その状況を報告し共有している。	
(2) 指導者、競技者等に対しコンプライアンス教育を実施しているか又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 指導者、競技者等に対しても (1) 項の情報共有を進めていくことを検討する。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) JDSF の経理規程に準じて適切な経理処理を行っている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	非該当
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 国庫補助金等の利用実績がない。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 経理担当者以外の2名が監事となって監査を実施している。	
原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 毎年、収支決算書を含む総会議案をウェブサイトで公開してきている。今後、年度ごとの収支決算書をウェブサイトで開示していくことを検討する。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 現時点においても各種お知らせや事業計画をウェブサイトで開示しているが、今後公式 LINE アカウントを活用したプッシュ型の情報提供など各種 SNS を駆使しながら充実を目指していく。 該当 URL http://iwate.jdsf.or.jp/	
原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則■について	非該当
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	